

岩手・宮城内陸地震にMESCOポリエチレンパイプを寄贈

ポリエチレンパイプ製造の三井金属エンジニアリング（本社東京都）と、一関市の管財商事、シミズの3社は25日、岩手・宮城内陸地震で被害を受けた同市厳美町の市野々原地区に供給する簡易水道の応急措置工事で使う配水管資材を寄贈した。

同地区には簡易水道が整備されておらず、住民は井戸水や沢水を引いて生活用水を確保していた。地震後は以前のような水量を確保できないほか、今後の治山工事で濁る恐れもあるため、安定供給に向け簡易水道の導入を決めた。

資材の寄贈は被災直後から申し出があり、三井金属エンジニアリングが直径50mmの高密度ポリエチレン管を30,000m（3,330,000円相当）、管財商事とシミズが管の空気弁、仕切り弁、接合付属品など一式（800,000円相当）を寄贈する。

工事は市水道工事業協同組合が請け負い既に進められており水源の同町祭時から槻木平地区に通じている簡易水道を27,000m延長し敷設する。

8月末に完成し、市野々原地区の全10世帯と市野々原集会所に9月から供給される予定。

同日は、三井金属エンジニアリングパイプ事業部の上田義則取締役営業部長、瀬上正雄仙台営業所長が市役所を訪問。上田部長は「一関市にはこれまでも配水管材料を納入しており、世話になっている。われわれの力はわずかだが、資材を復旧に役立ててもらいたい」と目録を贈呈。浅井東兵衛市長は「これまでも渇水時などには不便を来してきた。整備が完成すれば、皆さんに安全で安心できる水を利用していただける」と感謝した。

（上記記事は、8月26日付岩手日日新聞社提供記事であります。）



浅井市長に目録を手渡す弊社上田部長、瀬上所長

あとがき

一寸先は闇

大相撲は大麻騒動で現役力士逮捕だ、解雇だ、政権は簡単に投げ出し、党首選挙だ、国政選挙だ、、、一方中国餃子が一段落したと思ったら、汚染米騒動だ、、、更に各地で考えられない殺人事件の連続、、、海外に目をやれば、空前の負債でリーマン・ブラザーズ社が破綻し米国5大証券会社のうち3社が消え、公的支援9兆円e t c一寸先何が起こるか全くの闇世界。

しかし我々国内営業部は、この様な事に一喜一憂せず、厳しい世相は世相とし、掲げた受注目標、開拓営業に、今日からの下期を部長以下フル稼働していきたいもの。結果はついて来るものではない、結果は自らの足で掴む事を改めて部員は認識して。

国内営業部長 橘

国内営業部に南副部長配属

この度 SIAM MESCO (THAI) から国内営業部に南氏が副部長で配属となりました。南副部長は、マレーシアプロジェクト、THAI など海外での永年の営業・技術の経験があり、今後はこの経験を国内営業に生かしていきます。顧客各位殿には宜しくお願いします。



南副部長

海外営業部

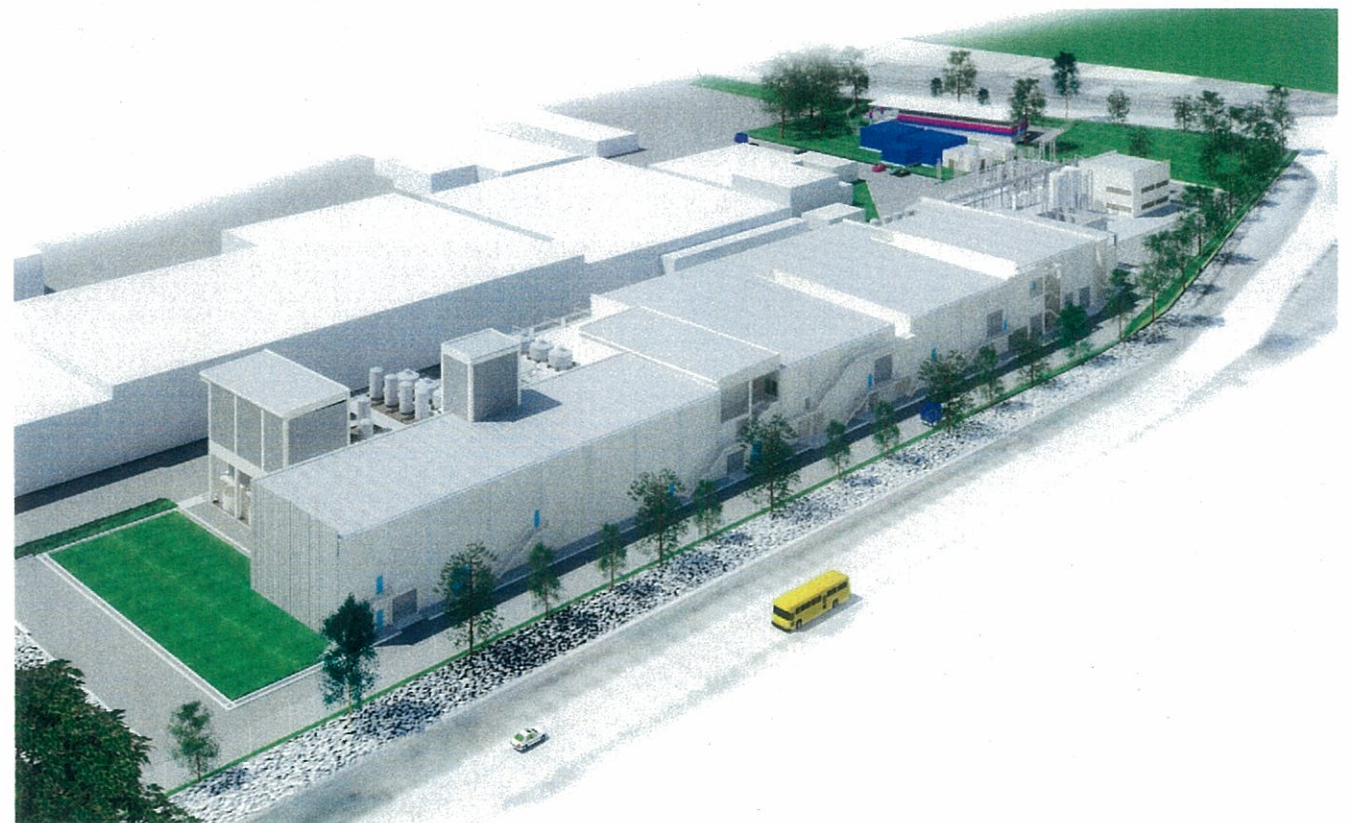
MCF 殿向け新工場建設プロジェクトを受注

MESCO 海外営業部は、三井金属殿が計画しているマレーシア電解銅箔工場大幅増強新工場建設プロジェクトをこの度、正式契約をしました。

本プロジェクトは、アジアにおける電解銅箔の量産拠点でマレーシアにある Mitsui Copper Foil (Malaysia) SDN. BHD. (以下、MCF) 殿において、このたび既存工場の隣接地に新工場を建設し超薄物電解銅箔の安定供給を図るものです。

MCF 殿は本プロジェクトにより、第1期工事で700ton/月、第2期工事で500ton/月、合わせ1,200ton/月の増産を目指すものです。

MESCO は、2010 年 3 月完成に向け、プロジェクトチームを組織化し取り組んでおります。



新工場完成予想図

日本結晶光学（株）殿向け結晶育成炉冷却水温度コントロール制御工事 完成

MESCO 国内営業部は、日本結晶光学（株）殿より、結晶育成炉冷却水温度コントロール制御工事を受注し完成致しました。この工事は、結晶育成炉に供給されている冷却水温を安定させるため、既設クーリングタワーに替わってチラーユニットにより冷却水温を自動でコントロールする制御システムです。

また、チラーには、水槽高温側の水を冷却し冷水側の水を循環させ中間期（春、秋）などでもクーリングタワーで冷え切らない分を冷やす方式として省エネを図り消費電力量が少ない効率タイプの機種を選定致しました。

この工事は、限られたスペースの中でのチラー設置工事、操業中の配管工事であり、操業を阻害しないための計画的な工事が要求されました。

MESCO の培った工事経験のもと、更には顧客との操業工程の調整を図り予定通りに完成し客先より高い評価を得ました。**MESCO** は、今後とも厳しい顧客ニーズに応えていきます。



冷却水温度コントロール制御装置

MESCO の豊富な技術と経験が今、各地で展開されています。

素材事業推進部

岡山県玉野市～香川県直島町海底送水管（**MESCO**パイプ）に鉛テープ採用

MESCO 素材事業推進部は、岡山県玉野市～香川県直島町に敷設する海底送水管（**MESCO**パイプ）の重量付加用として、鉛テープを供給しました。

この送水管は直径が 250mm、長さは 2046m（海底部）あり、飲料水および工業用水を安定供給するものがあります。

今回は海底に敷設するため重量を確保する必要があり、52.3kg/m の鉛テープが装着されています。

また、次の案件である蓋井島向けでは、鉛テープの製造において「三条取り」にチャレンジし、試行錯誤の末これを成功させ、製造日数・ドラム数が 1/3 となり、コスト削減と、製造効率・輸送効率を大幅に改善いたしました。

MESCO 素材事業推進部は、今後も社内外の顧客ニーズに、よりの確な提案をしていきます。



鉛テープ挿入工程

神岡鉱業（株）殿向け亜鉛流動焙焼炉廃熱ボイラ 蒸発器更新工事 受注

MESCO 神岡支店は神岡鉱業(株)殿より亜鉛流動焙焼炉廃熱ボイラ 第 1 及び第 2 蒸発器更新工事及び付属するスプリングハンマ工事を受注し、耐圧試験完了に向け現在工事が進行中です。

蒸発器は、亜鉛精鉱を FS 炉で燃焼させ、その発生熱を回収し蒸気を副産物として生産し、蒸気は各工場で操業に使用されています。

蒸発器とスプリングハンマは廃熱技術では世界屈指の技術力を持つ FOSTER WHEELER ENERGIA OY (FINLAND) 社から **MESCO** 本社が技術導入し神岡支店が施工する工事です。スプリングハンマはアンビルに取り付けられたディスクスプリングから中程度の周波数を発生させることで蒸発器に付着したダストを除去し廃熱ボイラの熱交換効率向上と容易なメンテナンスを可能にさせます。このようにスプリングハンマは通常の槌打式のハンマに比べ高いダスト除去効果があります。

この工事は硫酸工場の定修工事期間中の短期間に施工完了に向けて順調に進行中です。



ボイラーチューブ装着風景

九州支店

薄膜工場 通勤用橋 門扉・門柱・石垣工事 完成

MESCO 九州支店は、三井金属三池事務所殿より薄膜工場東側に通勤用橋の建設を受注し完成させた報告を本紙 Vol.42 号でお知らせしました。

今回は、第 2 段として門扉・門柱・石垣補強工事をこのほど完成致しました。

本設備は、北側工場群の社員の通勤災害防止「安全最優先」を最大のテーマとして計画し建設されたものです。

これにより社員の通勤災害の防止は出来ましたが、工場群のセキュリティーに問題ありとの観点より、三池事務所殿のご提案により（株）MCS 大牟田工場入口道路に警備室を新築しました。尚、通勤道路は監視カメラより管理能力が UP し、工場群の人の安全及び工場内の外部からの機密・安全を守る体制が出来ました。

MESCO 九州支店は、三池地区企業集団工場群の「安全最優先」の方針に対して企画、建設に今後とも勤めていきます。



完成した銀水地区全景